

添付資料：送電線工事における工事費の 不適切な精算について（概要）

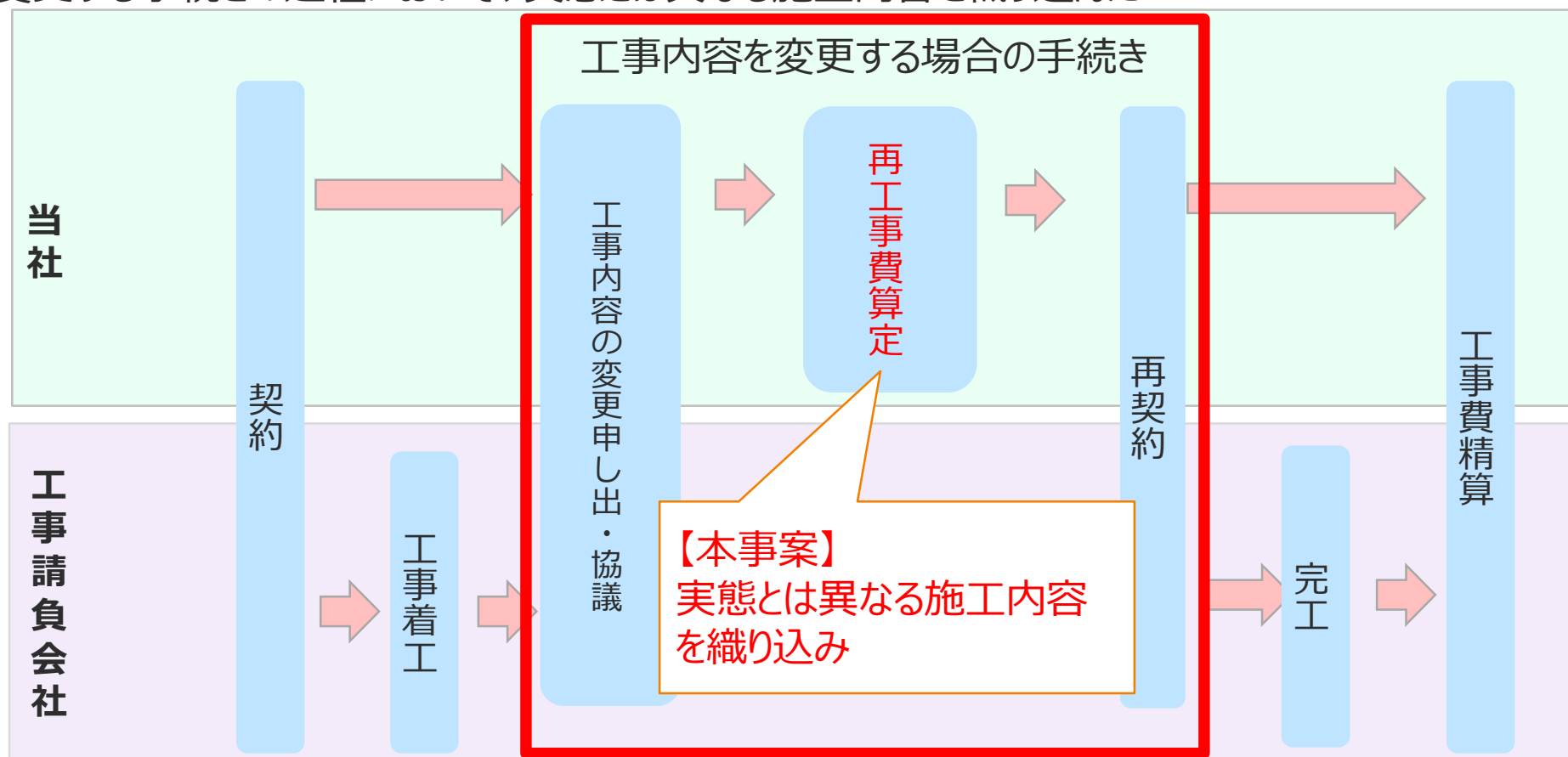
2018年5月10日

【工事費の精算手続きについて】

工事請負会社が当初予定していた工事に対し、天候、土地利用制約等、諸事情により工事内容を変更する場合、下図赤枠の手続きを実施

【本事案】

当社社員が、当社の仕様（単価・施工内容）に基づく工事費を超えて工事請負会社に支払うために、工事内容を変更する手続きの過程において、実態とは異なる施工内容を織り込んだ

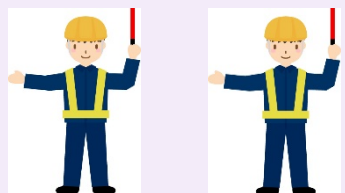


当社の仕様

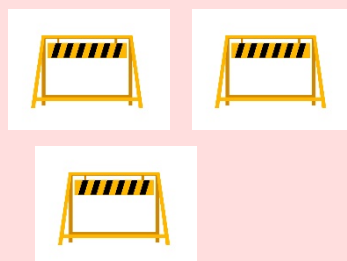
→ 当社の仕様を超える施工内容を織り込み

当社が要求する数量

交通誘導員

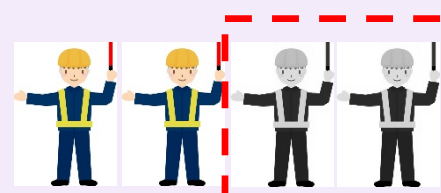


仮設・安全対策



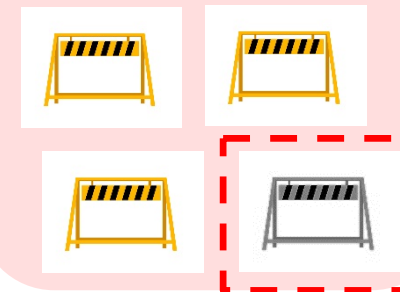
精算上の数量

交通誘導員
(人数の追加)



不適切

仮設・安全対策
(バリケード等の数量の追加)



不適切

主に設備として残らない仮設工事を追加

【調査対象】

名古屋支社送電グループが過去8年間※に実施した送電線工事 …… 52件

※ 調査期間の8年は法人税法施行規則第59条を考慮した社内の文書保管期限

【調査方法】

書類調査および、名古屋支社送電グループにて工事を担当していた当社社員と工事請負会社で担当していた者への聞き取り調査

【調査結果】 () 内はお客さまに工事費をご負担いただいた工事分の再掲

過払いが判明した件数 …… 8件 (1件)

過払い金額 …… 約5,240万円 (約130万円)

関与した工事請負会社 …… 3社

【調査委員会】

コンプライアンス推進会議
議長：社長

調査委員会

主 査 : 片岡 副社長
副主査 : 市川 電力ネットワークカンパニー社長
構成委員 : 監査役、法務室長、技術系各部門長 他

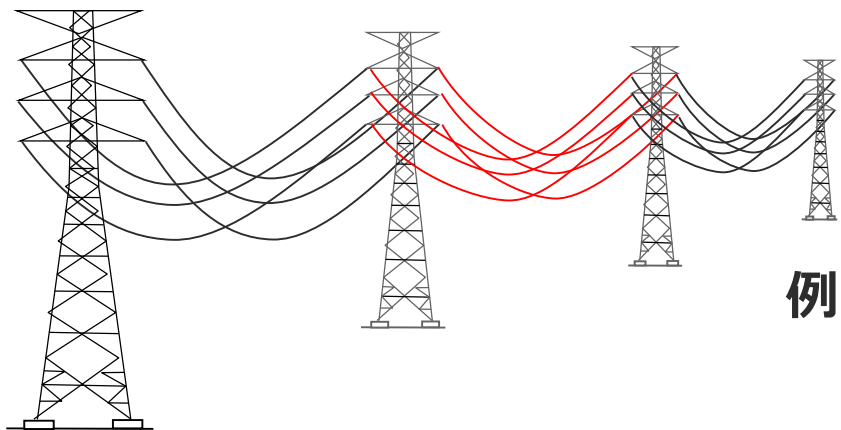
【今後の予定】

- ・名古屋支社送電グループ以外の送電線工事（約1,800件）
について、名古屋支社送電グループと同様の調査を実施
- ・再発防止策の立案検討

5月末日途に実施

(参考) 今回の不適切事象のイメージ

当社事情により実施した工事

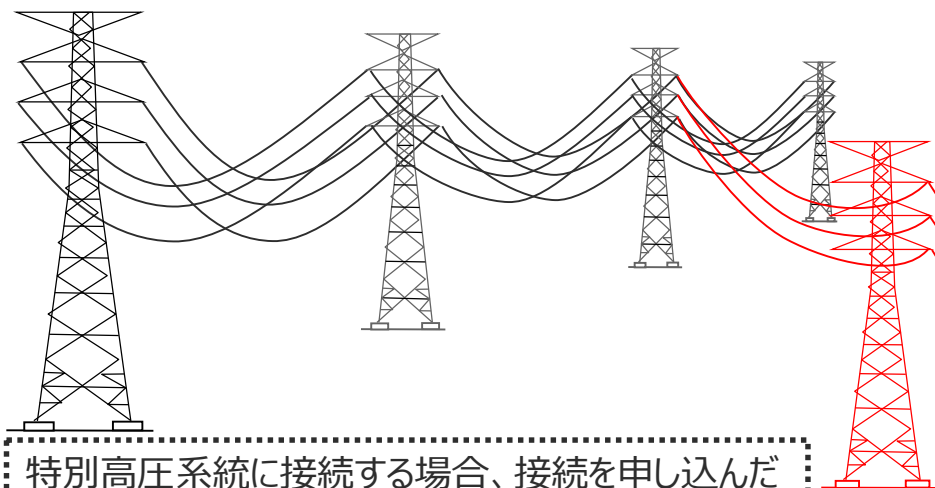


例) 電線張替工事

工事請負会社への
不適切な精算

7件

お客さま申込により、お客さまに工事費をいただいて実施した工事



特別高圧系統に接続する場合、接続を申し込んだお客さまに「工事費負担金」をご負担いただいている

例) 太陽光などの発電事業者
系統接続線



例) お客さま工場への供給線

工事請負会社への
不適切な精算

1件